



# 令和3年12月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

令和3年8月6日

上場会社名 オエノンホールディングス株式会社  
 コード番号 2533 URL <https://www.oenon.jp/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 西永 裕司

問合せ先責任者 (役職名) コーポレートコミュニケーション室長 (氏名) 田中 直子

TEL 03-6757-4584

四半期報告書提出予定日 令和3年8月6日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

## 1. 令和3年12月期第2四半期の連結業績(令和3年1月1日～令和3年6月30日)

### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
3年12月期第2四半期	37,981	0.5	825	1.5	867	5.8	558	66.5
2年12月期第2四半期	37,774	4.4	812	△19.6	820	△18.7	335	△45.6

(注)包括利益 3年12月期第2四半期 669百万円 (168.2%) 2年12月期第2四半期 249百万円 (△51.7%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
3年12月期第2四半期	9.40	—
2年12月期第2四半期	5.63	—

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
3年12月期第2四半期	50,966	22,315	39.7
2年12月期	51,724	22,081	38.7

(参考)自己資本 3年12月期第2四半期 20,239百万円 2年12月期 19,994百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2年12月期	—	—	—	7.00	7.00
3年12月期	—	—	—	—	—
3年12月期(予想)	—	—	—	7.00	7.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 令和3年12月期の連結業績予想(令和3年1月1日～令和3年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	78,000	0.4	700	△68.5	700	△68.9	350	△69.5	5.89

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 — 社 (社名) 、 除外 — 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	3年12月期2Q	65,586,196 株	2年12月期	65,586,196 株
② 期末自己株式数	3年12月期2Q	6,152,964 株	2年12月期	6,152,454 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	3年12月期2Q	59,433,504 株	2年12月期2Q	59,619,200 株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、本資料の発表日現在における将来の見通し、計画の元となる前提、予測を含んで記載しております。実際の業績は、今後の様々な要因によって大きく異なる結果となる可能性があります。

業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信【添付資料】4ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	10
(重要な後発事象)	11

○第2四半期決算 参考資料

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症に対するワクチン接種が段階的に開始され、収束への期待感が高まったものの、一部地域においては緊急事態宣言発出やまん延防止等重点措置の適用などによる経済活動・社会活動に対する制限は継続しており、依然として景気の先行きは不透明な状況が続いております。

このような経営環境の下、当社グループは、グループの持続的な成長及び中長期的な企業価値の向上を図るべく、中長期戦略「長期ビジョン100」で掲げた5本の柱を軸として、「中期経営計画2023」の目標達成に向けた取組みを引き続き進めてまいりました。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は、37,981百万円（前年同期比0.5%増）となりました。利益面では、コロナ禍での活動自粛による販売費及び一般管理費の減少により、営業利益は825百万円（前年同期比1.5%増）、経常利益は867百万円（前年同期比5.8%増）となりました。また、親会社株主に帰属する四半期純利益は558百万円（前年同期比66.5%増）となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

#### 販売実績

セグメントの名称	アイテム	当第2四半期連結累計期間 (自 令和3年1月1日 至 令和3年6月30日) (百万円)	前年同期比 (%)	
酒類	和酒部門	焼酎	18,511	99.0
		チューハイ	5,787	121.9
		清酒	1,550	93.5
		合成清酒	847	91.1
		販売用アルコール	4,628	91.7
		みりん	337	101.9
			31,663	100.8
	洋酒部門	2,080	107.8	
	その他の部門	275	93.8	
		34,019	101.1	
加工用澱粉		1,863	100.6	
酵素医薬品		1,892	91.7	
不動産		171	94.2	
その他		34	96.6	
	合 計	37,981	100.5	

(注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

#### 【酒類事業】

酒類事業におきましては、国内の人口減少や少子高齢化、飲酒機会の減少により市場の伸張が期待しにくく、価格競争も激化しております。飲用シーン別においては、度重なる緊急事態宣言発出やまん延防止等重点措置の適用による営業自粛、時短営業およびアルコール類の提供自粛により、飲食店向けの焼酎・清酒等が減少する一方、家飲みが定着したことで、市場の伸張が続くチューハイなどのRTD分野に加えて、居酒屋の味を自宅で自分好みに楽しむことができる“チューハイの素”と呼ばれる、割って飲む希釈タイプのリキュール(RTS)の市場も引き続き拡大しております。このような環境の下、売上高は34,019百万円(前年同期比1.1%増)となりました。利益面につきましては、296百万円の営業利益(前年同期比152.7%増)となりました。

和酒部門のうち焼酎につきましては、本格焼酎の「博多の華」シリーズや甲類乙類混和焼酎の「すごむぎ」「すごいも」シリーズが好調に推移したものの、PB商品等の減少により、売上高は減少いたしました。また、当社グループは、焼酎用としては酒類業界では初となる、リサイクル原料を使用したペットボトル容器を甲類焼酎「ビッグマン」をはじめとしたペットボトル商品に採用いたしました。これにより容器生産時に排出されるCO2排出量は約15%の削減が可能となります。今後も、事業活動を通じて持続的な自然環境の保護や脱炭素化社会の実現に貢献する取

組みを進めてまいります。

チューハイなどのRTD分野につきましては、「NIPPON PREMIUM」シリーズを始めとしたNB商品やPB商品が好調に推移し、売上高は増加いたしました。「NIPPON PREMIUM」シリーズや新発売の「昔懐かしいメロンソーダサワー」をはじめRTDについては、InstagramやTwitterのオエノングループ公式アカウントを利用し、消費者との直接的なコミュニケーションを重視した取組みを強化し、商品認知向上、ブランド育成に取り組んでおります。

清酒につきましては、飲食店に対する営業自粛・時短要請によって市場の低迷が続いている影響で売上高は減少いたしました。

販売用アルコールにつきましては、昨年に新型コロナウイルス感染症拡大に伴う消毒用アルコールの全国的な特需がありました工業用アルコールが減少したことにより、売上高は減少いたしました。

洋酒部門につきましては、RTSの「酎ハイ専科」シリーズや、「ウイスキー 香薫(こうくん)」が好調に推移し、売上高は増加いたしました。また、産学官連携のクラフトジン開発プロジェクトより生まれ、昨年発売した「秋田杉GIN」が、「東京ウイスキー&スピリッツコンペティション2021」においてジャパニーズジンとしては初となる最高金賞を受賞いたしました。

#### 【加工用澱粉事業】

加工用澱粉事業につきましては、菓子用や副産物が増加したため、売上高は1,863百万円(前年同期比0.6%増)となりました。しかしながら、原料であるコーン価格の大幅な高騰の影響を受け、営業利益は2百万円(前年同期比97.2%減)となりました。

#### 【酵素医薬品事業】

酵素医薬品事業につきましては、国内生産支援ビジネスは増加したものの、海外向け酵素が減少したため、売上高は1,892百万円(前年同期比8.3%減)、営業利益は431百万円(前年同期比14.1%減)となりました。

#### 【不動産事業】

不動産事業につきましては、売上高は171百万円(前年同期比5.8%減)、営業利益は88百万円(前年同期比3.1%減)となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

### ①資産、負債および純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末の総資産につきましては、50,966百万円となり、有形固定資産は増加したものの、売上債権が減少したため、前連結会計年度末と比較し758百万円の減少となりました。

負債につきましては、28,650百万円となり、短期借入金が増加したものの、未払酒税や未払消費税が減少したため、前連結会計年度末と比較して992百万円の減少となりました。

純資産につきましては、22,315百万円となり、前連結会計年度末と比較して234百万円の増加となりました。これは主に利益剰余金の増加によるものであります。

### ②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物の残高は779百万円となり、前連結会計年度末と比較して131百万円の減少となりました。

営業活動によるキャッシュ・フローにおける資金の減少額は、2,857百万円(前年同期比1,109百万円減)となりました。これは主に、売上債権の減少額2,458百万円、減価償却費845百万円等がありましたものの、未払酒税の減少額3,631百万円、未払消費税等の減少額1,197百万円等を計上したことによるものであります。

投資活動によるキャッシュ・フローについては、固定資産の取得による支出2,233百万円等がありましたので、2,474百万円(前年同期比794百万円増)の資金減少となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローについては、配当金の支払額419百万円、長期借入金の返済による支出375百万円等がありましたものの、短期借入金の増加額6,050百万円等がありましたので、5,201百万円(前年同期比612百万円増)の資金増加となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

新型コロナウイルス感染症については、いまだ収束が見通せない状況であります。当社グループにおいては、緊急事態宣言やまん延防止等重点措置にともなう営業自粛等の影響を受け、料飲店向け商品の販売が減少する一方で、家飲み需要の高まりによるチューハイや紙パック商品等の販売増加が引き続き見込まれております。しかしながら、世界的な経済活動の再開にともなう穀物市場や原油価格等の上昇に起因する原材料価格の高騰により、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益につきましては減少が見込まれております。通期の業績予想につきましては、それらを織り込んだ形で営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益を当初の予想から変更したものを令和3年6月29日に公表いたしております。

なお、令和3年7月29日に公表している「当社グループの組織のスリム化及び当社連結子会社における希望退職者募集並びに特別損失の発生に関するのお知らせ」に伴う特別損失については、応募者数、退職金総額等が未確定であるため、算定が可能となった時点で業績予想の修正とともに速やかにお知らせいたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (令和2年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (令和3年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	915	784
受取手形及び売掛金	16,869	14,411
商品及び製品	5,903	6,565
仕掛品	151	243
原材料及び貯蔵品	1,452	1,424
その他	231	329
貸倒引当金	△31	△10
流動資産合計	25,491	23,748
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	25,589	26,121
減価償却累計額	△18,873	△19,089
建物及び構築物(純額)	6,716	7,031
機械装置及び運搬具	35,879	36,018
減価償却累計額	△29,556	△29,911
機械装置及び運搬具(純額)	6,323	6,107
土地	9,673	9,673
建設仮勘定	328	1,323
その他	2,055	2,058
減価償却累計額	△1,805	△1,812
その他(純額)	249	246
有形固定資産合計	23,290	24,380
無形固定資産		
のれん	9	8
その他	239	252
無形固定資産合計	248	260
投資その他の資産		
投資有価証券	1,331	1,381
繰延税金資産	983	827
退職給付に係る資産	32	34
その他	350	337
貸倒引当金	△5	△5
投資その他の資産合計	2,693	2,575
固定資産合計	26,232	27,217
資産合計	51,724	50,966

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (令和2年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (令和3年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,696	4,119
電子記録債務	1,345	1,441
短期借入金	1,050	7,100
未払金	4,357	3,774
未払酒税	8,889	5,257
未払法人税等	552	155
賞与引当金	58	61
役員賞与引当金	40	19
株主優待引当金	18	-
設備関係支払手形	304	10
設備関係電子記録債務	206	178
その他	2,448	1,181
流動負債合計	23,968	23,300
固定負債		
長期借入金	750	375
長期預り金	3,179	3,141
繰延税金負債	146	172
役員株式給付引当金	76	92
退職給付に係る負債	1,258	1,277
資産除去債務	113	113
その他	150	177
固定負債合計	5,674	5,350
負債合計	29,643	28,650
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,946	6,946
資本剰余金	5,599	5,601
利益剰余金	8,683	8,822
自己株式	△1,577	△1,578
株主資本合計	19,652	19,792
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	275	340
繰延ヘッジ損益	△29	15
退職給付に係る調整累計額	95	90
その他の包括利益累計額合計	341	446
非支配株主持分	2,086	2,076
純資産合計	22,081	22,315
負債純資産合計	51,724	50,966



## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 令和2年1月1日 至 令和2年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 令和3年1月1日 至 令和3年6月30日)
売上高	37,774	37,981
売上原価	31,167	31,527
売上総利益	6,606	6,454
販売費及び一般管理費	5,793	5,629
営業利益	812	825
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	22	20
受取賃貸料	37	35
為替差益	-	12
雑収入	23	25
営業外収益合計	83	93
営業外費用		
支払利息	29	28
操業休止等経費	12	13
雑損失	34	9
営業外費用合計	76	51
経常利益	820	867
特別利益		
その他	0	0
特別利益合計	0	0
特別損失		
固定資産除売却損	150	35
投資有価証券評価損	86	44
投資有価証券売却損	-	2
その他	59	4
特別損失合計	296	87
税金等調整前四半期純利益	523	779
法人税等	152	216
四半期純利益	370	563
非支配株主に帰属する四半期純利益	35	5
親会社株主に帰属する四半期純利益	335	558

四半期連結包括利益計算書  
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 令和2年1月1日 至 令和2年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 令和3年1月1日 至 令和3年6月30日)
四半期純利益	370	563
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△128	65
繰延ヘッジ損益	7	45
退職給付に係る調整額	△0	△4
その他の包括利益合計	△120	105
四半期包括利益	249	669
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	215	663
非支配株主に係る四半期包括利益	34	6

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 令和2年1月1日 至 令和2年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 令和3年1月1日 至 令和3年6月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	523	779
減価償却費	839	845
のれん償却額	31	1
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	11	12
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△1	△20
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	△18	△20
役員株式給付引当金の増減額 (△は減少)	11	15
株主優待引当金の増減額 (△は減少)	△15	△18
受取利息及び受取配当金	△22	△20
支払利息	29	28
固定資産除売却損	150	35
投資有価証券売却損益 (△は益)	-	2
投資有価証券評価損	86	44
売上債権の増減額 (△は増加)	1,455	2,458
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△613	△726
仕入債務の増減額 (△は減少)	△759	△481
未払消費税等の増減額 (△は減少)	169	△1,197
未払酒税の増減額 (△は減少)	△3,118	△3,631
その他	△273	△399
小計	△1,511	△2,292
利息及び配当金の受取額	22	20
利息の支払額	△48	△44
法人税等の支払額	△210	△541
営業活動によるキャッシュ・フロー	△1,748	△2,857
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
固定資産の取得による支出	△3,162	△2,233
固定資産の除却による支出	△74	△213
投資有価証券の取得による支出	△3	△3
その他	△27	△24
投資活動によるキャッシュ・フロー	△3,268	△2,474
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	5,700	6,050
長期借入金の返済による支出	△375	△375
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△10	△38
自己株式の取得による支出	△306	△0
配当金の支払額	△424	△419
非支配株主への配当金の支払額	△12	△12
その他	17	△3
財務活動によるキャッシュ・フロー	4,589	5,201
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△427	△131
現金及び現金同等物の期首残高	1,192	910
現金及び現金同等物の四半期末残高	765	779

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 令和2年1月1日 至 令和2年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					その他 (注)1	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	酒類	加工用 澱粉	酵素 医薬品	不動産	合計			
売上高								
(1)外部顧客に 対する売上高	33,640	1,852	2,063	181	37,738	35	—	37,774
(2)セグメント間の 内部売上高又は振替高	7	—	—	—	7	—	△7	—
計	33,648	1,852	2,063	181	37,746	35	△7	37,774
セグメント利益	117	94	502	91	805	7	—	812

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、倉庫業・荷役業等であります。

2 調整額は、セグメント間の取引消去であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自 令和3年1月1日 至 令和3年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					その他 (注)1	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	酒類	加工用 澱粉	酵素 医薬品	不動産	合計			
売上高								
(1)外部顧客に 対する売上高	34,019	1,863	1,892	171	37,947	34	—	37,981
(2)セグメント間の 内部売上高又は振替高	1	—	—	—	1	—	△1	—
計	34,021	1,863	1,892	171	37,948	34	△1	37,981
セグメント利益	296	2	431	88	819	6	—	825

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、倉庫業・荷役業等であります。

2 調整額は、セグメント間の取引消去であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(重要な後発事象)

(希望退職者募集の実施)

当社は、令和3年7月29日開催の取締役会において、当社グループの組織のスリム化を行うこと並びに当社の連結子会社である合同酒精株式会社及び株式会社サニーメイズにおいて希望退職者の募集を行うことを決議いたしました。

1. 組織のスリム化及び希望退職者募集の理由

世界的な経済活動の再開による粗留アルコール・コーンなどの原材料価格や重油・ガスなどの燃料価格の急激な高騰の影響を受け、今期の営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益は年初の業績予想を大きく下回る見込みであり、厳しい事業環境は今後も続くことが予想されております。

このような環境の変化に対応し、持続的な成長軌道に乗せるためには、事業構造改革による組織のスリム化とそれに伴う人員体制の適正化を図り、早期に安定した収益構造を構築することが急務であると判断し、希望退職者の募集を行うことを決定いたしました。

2. 組織のスリム化の概要

(1) オエノンホールディングス株式会社

① 「R&D戦略室」及び「酒類基礎研究所」の廃止（令和4年2月1日付）

「R&D戦略室」及び「酒類基礎研究所」を廃止し、酒類基礎研究機能及び技術開発機能を各事業会社に戻す。

② 「資源資材調達室」の廃止（令和4年2月1日付）

「資源資材調達室」を廃止し、資源資材調達機能を各事業会社に戻す。

③ 「品質安全保証管理室」の再編及び名称変更（令和4年2月1日付）

各事業会社の工場に駐在し、各工場の品質管理体制を監督していた「品質管理グループ」を廃止する。なお、「品質安全保証管理室」は「品質安全保証室」に名称変更する。

(2) 合同酒精株式会社

① 「原料用営業部」と「アルコール営業部」の統合（令和4年2月1日付）

「原料用営業部」と「アルコール営業部」を統合し、「原料用営業部」とする。

② 「業務用営業部」の再編（令和4年2月1日付）

「広域料飲・ホテルグループ」と「首都圏料飲グループ」を統合し、「販売推進グループ」とする。

なお、組織のスリム化の一環として、既に令和3年7月1日付で国際本部を廃止し、同本部の各業務を営業本部・生産本部・酵素医薬品本部に移管しております。

3. 希望退職者募集の概要

(1) 募集人数 50名程度

(2) 募集対象 合同酒精株式会社及び株式会社サニーメイズに在籍する令和4年に満年齢45歳以上となる正社員・シニア社員・嘱託社員

(3) 募集期間 令和3年10月1日～令和3年10月15日

(4) 退職日 令和3年12月31日

(5) 優遇措置 希望退職者に対し所定の退職金に加え、特別加算金を支給する。  
また、希望者に再就職支援会社を通じて再就職支援を行う。

4. 今後の見通し

今回の希望退職者募集に伴い発生する特別加算金等は、令和3年12月期連結決算において特別損失として計上する予定であります。なお、現時点では応募者数、退職金総額等が未確定であるため、特別損失の金額及び業績見通しへの影響については、未定であります。

## 令和3年12月期 第2四半期決算 参考資料

1. 要約連結損益計算書
2. 要約連結損益計算書（当四半期）
3. セグメント別売上高
4. 利益増減要因（1-6月）
5. 要約連結貸借対照表
6. 連結業績予想
7. 予想売上高

**オエノンホールディングス株式会社**

令和3年8月6日

# 1. 要約連結損益計算書

単位:百万円

	前第2四半期 連結累計期間	当第2四半期 連結累計期間	増減(△)	前年対比(%)
	自 令和2年 1月 1日 至 令和2年 6月30日	自 令和3年 1月 1日 至 令和3年 6月30日		
酒類事業	33,640	34,019	378	101.1
加工用澱粉事業	1,852	1,863	11	100.6
酵素医薬品事業	2,063	1,892	△ 171	91.7
不動産事業その他	217	205	△ 11	94.6
売上高	37,774	37,981	207	100.5
売上原価	31,167	31,527	359	101.2
売上総利益	6,606	6,454	△ 151	97.7
販売費及び一般管理費	5,793	5,629	△ 164	97.2
酒類事業	117	296	179	252.7
加工用澱粉事業	94	2	△ 91	2.8
酵素医薬品事業	502	431	△ 70	85.9
不動産事業その他	98	94	△ 4	95.8
営業利益	812	825	12	101.5
営業外収益	83	93	9	111.8
営業外費用	76	51	△ 25	67.3
経常利益	820	867	47	105.8
特別利益	0	0	0	-
特別損失	296	87	△ 208	29.5
税金等調整前四半期純利益	523	779	256	149.0
法人税等合計	152	216	63	141.3
四半期純利益	370	563	193	152.2
非支配株主に帰属する四半期純利益	35	5	△ 29	15.5
親会社株主に帰属する四半期純利益	335	558	223	166.5
1株当たり四半期純利益(円)	5.63	9.40	3.77	166.9
設備投資額	528	1,862	1,333	352.1

## 2. 要約連結損益計算書(当四半期)

単位:百万円

	前第2四半期 連結累計期間	当第2四半期 連結累計期間	増減(△)	前年対比(%)
	自 令和2年 4月 1日 至 令和2年 6月30日	自 令和3年 4月 1日 至 令和3年 6月30日		
酒類事業	18,512	18,337	△ 175	99.1
加工用澱粉事業	972	953	△ 18	98.1
酵素医薬品事業	1,158	949	△ 208	82.0
不動産事業その他	103	104	1	101.0
売上高	20,747	20,345	△ 401	98.1
売上原価	17,009	16,859	△ 150	99.1
売上総利益	3,737	3,486	△ 250	93.3
販売費及び一般管理費	2,986	2,913	△ 73	97.6
酒類事業	378	360	△ 17	95.3
加工用澱粉事業	57	△ 6	△ 63	-
酵素医薬品事業	261	175	△ 86	67.0
不動産事業その他	53	42	△ 10	80.4
営業利益	750	572	△ 177	76.3
営業外収益	50	46	△ 3	93.4
営業外費用	27	28	0	102.9
経常利益	772	590	△ 181	76.5
特別利益	-	-	-	-
特別損失	200	53	△ 146	26.8
税金等調整前四半期純利益	572	537	△ 34	93.9
法人税等合計	155	136	△ 19	87.4
四半期純利益	416	400	△ 15	96.3
非支配株主に帰属する四半期純利益	22	2	△ 20	10.5
親会社株主に帰属する四半期純利益	393	398	4	101.2
1株当たり四半期純利益(円)	6.62	6.71	0.09	101.4



### 3. セグメント別売上高

単位：百万円

	前第2四半期 連結累計期間	当第2四半期 連結累計期間	増減(△)	前年対比(%)
	自 令和2年 1月 1日 至 令和2年 6月30日	自 令和3年 1月 1日 至 令和3年 6月30日		
焼酎	18,702	18,511	△ 190	99.0
（ 甲 類 焼 酎 ）	(6,816)	(6,773)	(△ 42)	(99.4)
（ 乙 類 焼 酎 ）	(11,885)	(11,738)	(△ 147)	(98.8)
チ ュ ー ハ イ	4,747	5,787	1,039	121.9
清 酒	1,658	1,550	△ 107	93.5
合 成 清 酒	930	847	△ 82	91.1
販 売 用 ア ル コ ー ル	5,048	4,628	△ 419	91.7
み り ん	330	337	6	101.9
洋 酒	1,929	2,080	151	107.8
そ の 他	293	275	△ 18	93.8
酒 類 計	33,640	34,019	378	101.1
加 工 用 澱 粉	1,852	1,863	11	100.6
酵 素 医 薬 品	2,063	1,892	△ 171	91.7
不 動 産	181	171	△ 10	94.2
そ の 他	35	34	△ 1	96.6
合 計	37,774	37,981	207	100.5

#### 4. 利益増減要因(1-6月)

単位:百万円

	利益増減(△)	主な増減要因
酒類事業	179	売上高増加による総利益増+60 原材料コストの上昇による原価増△280 人件費など製造固定費経費の減+110 販売促進費など販管費の減+140 製品構成の影響等+149
加工用澱粉事業	△ 91	原料(コーン)価格の高騰
酵素医薬品事業	△ 70	輸出酵素の減
不動産事業その他	△ 4	
営業利益	12	
営業外収益	9	為替差益の増
営業外費用	25	旧本社ビル(銀座)減価償却費の減
経常利益	47	
特別利益	0	
特別損失	208	固定資産除売却損、投資有価証券評価損の減
税金等調整前四半期純利益	256	
法人税等	△ 63	
四半期純利益	193	
非支配株主に帰属する四半期純利益	29	
親会社株主に帰属する四半期純利益	223	

## 5. 要約連結貸借対照表

単位:百万円

	前連結会計年度 令和2年12月31日	当第2四半期 連結会計期間 令和3年6月30日	増減(△)	前年対比 (%)	主な増減要因
(資産の部)					
現金及び預金	915	784	△ 131	85.7	
受取手形及び売掛金	16,869	14,411	△ 2,458	85.4	季節要因による売上高減
たな卸資産	7,507	8,233	726	109.7	
その他	231	329	98	142.7	
貸倒引当金	△ 31	△ 10	20	-	
流動資産合計	25,491	23,748	△ 1,743	93.2	
建物	4,924	5,280	355	107.2	
土地	9,673	9,673	-	100.0	
その他	8,692	9,426	734	108.4	銀座ビル跡地開発建設仮勘定の増
有形固定資産計	23,290	24,380	1,089	104.7	
無形固定資産	248	260	12	104.9	
投資有価証券	1,331	1,381	49	103.7	
長期前払費用	143	130	△ 13	90.9	
繰延税金資産	983	827	△ 156	84.1	
その他	239	242	2	101.0	
貸倒引当金	△ 5	△ 5	-	-	
投資その他の資産計	2,693	2,575	△ 117	95.6	
固定資産合計	26,232	27,217	984	103.8	
資産合計	51,724	50,966	△ 758	98.5	

単位:百万円

	前連結会計年度 令和2年12月31日	当第2四半期 連結会計期間 令和3年6月30日	増減(△)	前年対比 (%)	主な増減要因
(負債の部)					
支払手形及び買掛金	6,042	5,561	△ 481	92.0	
短期借入金	1,050	7,100	6,050	676.2	
未払金	4,357	3,774	△ 582	86.6	
未払酒税	8,889	5,257	△ 3,631	59.1	季節要因による売上高減
その他	3,629	1,606	△ 2,022	44.3	未払消費税、未払法人税の減
流動負債合計	23,968	23,300	△ 668	97.2	
長期借入金	750	375	△ 375	50.0	
その他	4,924	4,975	50	101.0	
固定負債合計	5,674	5,350	△ 324	94.3	
負債合計	29,643	28,650	△ 992	96.7	
(純資産の部)					
資本金	6,946	6,946	-	100.0	
資本剰余金	5,599	5,601	1	100.0	
利益剰余金	8,683	8,822	138	101.6	
自己株式	△ 1,577	△ 1,578	△ 0	-	
株主資本合計	19,652	19,792	140	100.7	
その他有価証券評価差額金	275	340	64	123.2	
繰延ヘッジ損益	△ 29	15	45	-	
退職給付に係る調整累計額	95	90	△ 4	95.4	
その他の包括利益累計額合計	341	446	104	130.7	
非支配株主持分	2,086	2,076	△ 10	99.5	
純資産合計	22,081	22,315	234	101.1	
負債純資産合計	51,724	50,966	△ 758	98.5	

自己資本比率(%)	38.7	39.7	1.0	
-----------	------	------	-----	--

## 6. 連結業績予想

単位:百万円

	前連結会計年度 自 令和 2年 1月 1日 至 令和 2年12月31日	当連結会計年度 自 令和 3年 1月 1日 至 令和 3年12月31日	増減(△)	前年対比(%)
酒類事業	70,412	70,290	△ 122	99.8
加工用澱粉事業	3,582	3,903	321	109.0
酵素医薬品事業	3,293	3,365	72	102.2
不動産事業その他	424	440	15	103.7
売上高	77,712	78,000	287	100.4
売上原価	63,689	65,578	1,889	103.0
売上総利益	14,023	12,421	△ 1,601	88.6
販売費及び一般管理費	11,802	11,721	△ 80	99.3
酒類事業	1,281	106	△ 1,175	8.3
加工用澱粉事業	148	△ 162	△ 311	-
酵素医薬品事業	591	554	△ 37	93.7
不動産事業その他	199	201	2	101.0
営業利益	2,221	700	△ 1,521	31.5
営業外損益	27	0	△ 27	-
経常利益	2,248	700	△ 1,548	31.1
特別損益	△ 448	△ 200	248	-
税金等調整前当期純利益	1,799	500	△ 1,299	27.8
法人税等合計	606	190	△ 416	31.4
当期純利益	1,192	309	△ 883	26.0
非支配株主に帰属する当期純利益	45	△ 40	△ 85	-
親会社株主に帰属する当期純利益	1,147	350	△ 797	30.5

## 7. 予想売上高

単位:百万円

	前連結会計年度	当連結会計年度	増減(△)	前年対比(%)
	自 令和 2年 1月 1日 至 令和 2年12月31日	自 令和 3年 1月 1日 至 令和 3年12月31日		
焼 酎	39,357	39,134	△ 223	99.4
( 甲 類 焼 酎 )	(13,922)	(13,865)	(△ 56)	(99.6)
( 乙 類 焼 酎 )	(25,435)	(25,268)	(△ 166)	(99.3)
チ ュ ー ハ イ	10,336	11,422	1,085	110.5
清 酒	3,540	3,119	△ 421	88.1
合 成 清 酒	2,066	1,898	△ 168	91.9
販 売 用 ア ル コ ー ル	9,642	9,174	△ 467	95.2
み り ん	742	626	△ 116	84.3
洋 酒	4,130	4,331	200	104.9
そ の 他	595	583	△ 12	97.9
酒 類 計	70,412	70,290	△ 122	99.8
加 工 用 澱 粉	3,582	3,903	321	109.0
酵 素 医 薬 品	3,293	3,365	72	102.2
不 動 産	351	366	14	104.1
そ の 他	72	74	1	101.8
合 計	77,712	78,000	287	100.4